

山口県盲人福祉協会に MUDカレンダーを 2年連続寄贈

山口県印刷工業組合青年部は「9月印刷の月イベント」として
2012年9月11日 山口県盲人福祉協会にMUDカレンダー300部を寄贈しました。



メディアユニバーサルデザインの点字カレンダー

やさしいCalendar 2013

カレンダーコンセプト

2013年は「毎月写真を撮ろう!」と題して1月から12月までの各月を人文字で表現するという趣向になっています。家族やお友達、会社の同僚とのコミュニケーションツールとしてもお楽しみください。



ポイント 01 どんな人にも公平に伝える

カレンダーとしての基本情報は高齢者、色覚障がい者、弱視者など全ての人に公平に伝えられるよう、文字は一番認識力に優れている黒1色で日祝祭日を表現しています。目の不自由な方にも使用していただけるよう透明インキで点字も入っています。

ポイント 02 どんな人にも使いやすく

カレンダーの左右には月ごとにタブを設けています。これにより2枚一緒にめくってしまいう事がなくなり、めくりやすい設計になっています。更に見たい月に簡単に移動することもできます。タブにも点字が印刷してあるので、目の不自由な方にも同じように利用していただけます。

印刷の月とは

毎年9月は印刷の月と呼ばれています。これは、日本の活版印刷の先覚者である本木昌造先生の遺徳を偲び、各地で「印刷が情報・文化・生活価値を通じていかに社会に貢献しているかを社会に理解してもらう月間」として、各地で活動が行われています。

そこで、私たち山口県印刷工業組合青年部では、「すべての方に優しくわかりやすく」を合言葉に「情報が正しく伝わるように」とメディアユニバーサルデザインの普及と啓蒙活動を行っています。